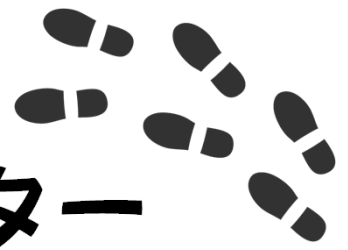




# 移住ビフォー→アフター



vol.23 大樹町 小川 令人 さん

## 大樹町での暮らしはいかがですか？



元々、同じ十勝の帯広市出身なので、暮らしについてはそこまで大きく違いはありません。ただ、猟場環境は帯広市よりも圧倒的に恵まれていると感じます。

休日は協力隊員や役場職員、ALTのアメリカ人の先生たちと共に夏の歴舟川をラフティングボートで川下りやスノーシューで冬の山野を歩いたり、鹿肉で餃子を作ったり、クマ肉をベアシチューにしたりして使ってみなでお食事会などを開催しています。

## 移住するにあたり、不安はありませんでしたか？



生活面での不安はありませんでしたが、町外から来たので猟友会の方々に受け入れていただけるのかが一番心配でした。

あとは、年齢的な問題もあり、職員たちと馴染めるかもと不安でしたが、温かい方が多くとても充実した毎日を過ごしています。

## 移住を検討している方へのアドバイス



昨年の7月と10月に北海道移住・交流フェアの東京会場参加し、関東圏に住んでいる狩猟に興味がある方の移住相談を受けました。大樹町の自然の豊かさや狩猟環境の良さなどをアピールしました。関東圏からの移住となると環境が大きく変わるためハードルは高いかもしれませんが、北海道の中でも狩猟環境はかなり良いところですので、前向きに検討していただければと思います。夏は本州よりは涼しく、ゴキブリもおらず、杉もありませんので。

仕事以外の私生活に関して不安がある方は信頼できる移住コーディネーターもいますので、お気軽にお問合せください。



移住フェアに参加した小川さん

# 大樹町のおすすめスポットのご紹介

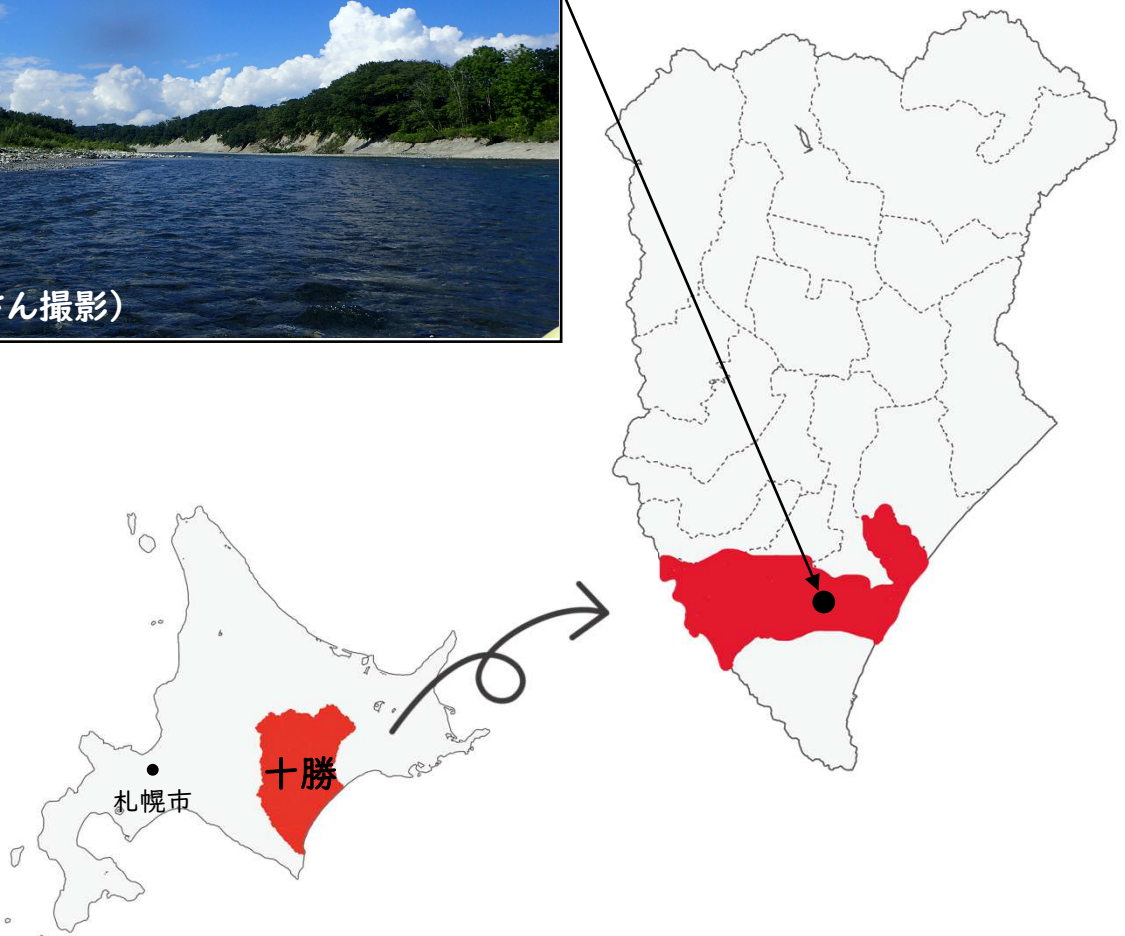


## 歴舟川 (国道236号線沿い)

4月下旬から5月上旬までの間、たくさんの鯉のぼりが川幅いっぱい泳ぎます。



(写真:小川さん撮影)



## ～大樹町について～

町名の大樹は、アイヌ語で、「大木が群生するところ」と意味する「タイキウシ」からつきました。

日高山脈より日本一の清流「歴舟川」がまちを流れ、海岸には原生花園が広がり、美しい自然に恵まれています。人や夢がより大きく育ち、人も夢もより大きく育てる地域づくりを進めるため「～暮らしと明日を彩る清流の里～コスモスのまち大樹」をまちづくりのテーマにしています。(大樹町HPより)



▲ 大樹町の町章